



淀川キリスト教病院 消化器内科

淀川キリスト教病院はキリスト教精神に基づいた「全人医療」を実践し、患者さんならびに地域医療機関に最も信頼される中核病院であること。そのために、「生命の始まり＝周産期医療」「存続への危機＝急性期医療、救急救命医療」「生命の終末＝エンドオブライフ・ケア」において高度であたたかな医療を提供することが淀川キリスト教病院の基本方針です。

研修内容

病院と消化器内科の特色

当院は、大阪市北部の基幹病院として、急性・慢性期消化器疾患とも患者数が最も多く、消化器の救急受診者数や救急搬送の症例、特に急性胆管炎や胆石性膵炎、吐下血症例などが多いため。緊急内視鏡検査の実施にも携われることが多いです。全ての内視鏡手技を経験できる施設であることから消化器内科、特に内視鏡専門医を目指すには非常に恵まれた施設であると自負しています。また各領域のスペシャリティがいるため安心して診療に従事できます。



診療実績

2024年度 主な治療内容と実績	計
上部消化管	
上部消化管内視鏡	3,555
上部消化管内視鏡（健診）	10,989
内視鏡的粘膜下層剥離（ESD）	68
内視鏡的粘膜切除術（EMR）	26
内視鏡的止血術	153
下部消化管	
下部消化管内視鏡	2,811
内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）	73
内視鏡的粘膜切除術（EMR）	1,211
内視鏡的止血術	92
内視鏡的胃瘻造設術（PEG）	16
内視鏡的消化管ステント留置術	21
小腸ダブルバルーン内視鏡	10
胆道・膵臓	
ERCP	396
ダブルバルーンERCP	19
EUS	217
EUS-FNA	45
Interventional EUS	9

メッセージ

消化器内科専攻医希望の先生方へ

当科では、専攻医の先生方がそれぞれの目標やライフプランに応じて、柔軟に研修を組める体制を整えています。ローテーションの調整や、1年間の他院研修についても、希望に沿って対応していますので、安心してご相談ください。

消化器内科は、他科と比べて特に手技の習得が重要な分野です。そのため、たとえ他科をローテーション中であっても、腹部超音波や内視鏡検査の実習日を設け、早期から技術を身につけられるようサポートしています。基本的な上部・下部内視鏡のスクリーニング検査に加え、EMRやESDといった治療内視鏡、さらにはERCPなど、幅広い手技を段階的に習得していただきます。

また、日本消化器病学会および日本消化器内視鏡学会の専門医取得を目指し、学会発表や論文作成にも積極的に取り組んでいただきます。大学院進学を希望される方には、神戸大学大学院への進学も可能で、これまでも複数の先生方が進学し、研究と臨床の両立を実現しています。

さらに、当院は人間ドックや健診にも力を入れており、消化器内科医は年間約1万件の上部消化管内視鏡検査、約1万6千件の腹部超音波検査に携わっています。予防医学に関心のある方にとっても、非常にやりがいのある環境です。

消化器内科医としての第一歩を、ぜひ私たちと一緒に踏み出してみませんか？皆さんとお会いできる日を、心より楽しみにしています。